

確かなまなびと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立みはら大地幼稚園
園長 日田 香織

令和7年度 重点目標	<p>【教育目標】 一人ひとりの幼児が自分らしさを発揮し、生き生きと遊ぶことを通して、生きる力の基礎を培う</p> <p>【めざす子どもの姿】 ・心身ともに健やかでたくましい子ども ・自分も友だちも大切にしている子ども ・よく考え、やりぬこうとする子ども ・のびのびと表現する子ども</p> <p>【各学年の重点目標】 3歳児「ようちえんだいすき」～安心して園生活を送り、好きな遊びを楽しむ～ 4歳児「ともだちだいすき」～自分の思いを出しながら、友だちと遊ぶことを楽しむ～ 5歳児「なかまっていいな」～友だちと思いを伝えあったり、力を合わせたりして、一緒に遊ぶことを楽しみ、満足感を味わう～</p> <p>【研究テーマ】 「つながり」「響きあう」環境構成のあり方 ～子ども理解に重点をおいて～</p>
-------------------	--

<p>まなびの現状</p> <p>○自分からすすんで環境にかかわろうとする幼児が多いが、中には決められた遊びには参加できるが、自分から遊びを見つけたり、遊びを考えたりすることが苦手な幼児もいる。</p> <p>○植物や昆虫、砂、土、泥など、園の自然環境に親しんでおり、興味をもつ幼児が多い。</p> <p>○自分の思いや考えを言葉や態度で表現することや、友達とのかかわりの中で自分の気持ちを調整することが難しい幼児がいる。</p>	<p>こころ・からだの現状</p> <p>○ここ数年、交流の機会を意図的に設けたことで、異年齢児に親しみや憧れの気持ちをもっている幼児が多い。一方で、新入園児を中心に、人とかかわる経験が乏しい幼児もおり、園生活の中でかかわる楽しさや心地よさを味わえるようにしていきたい。</p> <p>○体を動かして遊ぶことを楽しむ幼児が多いが、新入園児を中心に経験が少ないために、バランス感覚や動きを調整することに課題がある幼児の姿も見られる。</p> <p>○生活習慣に関しては個人差も大きく、家庭と連携して進める必要がある。</p>
--	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～8月)	達成状況 (年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学びに向かう力の育成	自分らしさを発揮しながら、生き生きと遊ぶ幼児を育てる	●興味をもってかかわれるような環境構成を工夫することで、幼児が自分で考える、試す、工夫する、挑戦するといった姿につながる	幼児が自ら考える、試す、工夫する、挑戦するといった姿が見られるか アンケートの肯定的評価 80%以上	幼児記録 保護者アンケート	年度末	○ これまでの研究成果を踏まえ、幼児の関心に基づく環境設定を心がけている。自ら考える、試す、工夫するきっかけになるような環境構成を今後も進めていきたい。 第1回アンケート：100%	○ 幼児の興味関心を瞬時に感じとり、ふさわしい環境を整えることや、幼児にきっかけとなるような問いかけを意識することで、幼児自ら考えたり試したりする姿につながった。 第2回アンケート：100%	○ ・自分で考え、試す、工夫する場面を多く取り入れていることが子どもの姿からよくわかった。 ・これまでの積み重ねをもとに、幼児の興味関心をとらえ環境構成されていることが素晴らしい。
			心が動く体験を積み重ねることで、思ったことや感じたことを自分なりに表現する力をはぐくむ	幼児が自分なりに思いや感じたことを表現しようとしているか アンケートの肯定的評価 80%以上	幼児記録 保護者アンケート	年度末	○ 幼児の思いを丁寧に受け止めることで、安心して自分の思いを表現することができるようになってきた。2学期以降も心動く体験を積み重ね、表現する楽しさ・喜びを味わってほしい。 第1回アンケート：100%	○ 幼児が安心して思いを表現することができる雰囲気があることで、自分なりの表現を楽しむ姿につながった。 第2回アンケート：100%	◎ ・どのような表現も受け入れる教師の姿勢が共感できる。 ・幼児の思いを引き出す工夫と、継続してつながることがいいと思う。
		教師の幼児理解を深め、保育力を高める	研究保育や、園内研修を通して、幼児の育ちを見とる力を向上させる	幼児の育ちを多面的に捉えることができるか	園内研修 幼児記録	年度末	○ 専門家の助言をもとに、子ども理解に重点をおいて研究を進めている。6月の公開保育では、子ども理解に基づく環境構成によって見られる育ちについて参加者と意見交流することができた。	○ 期ごとに振り返りと次期に育てたい姿を話し合う機会を設けることで、幼児の育ちを多面的に捉えることにつながった。また、11月には公開保育を2回行い、多様な参加者との意見交流ができた。	◎ ・公開保育を計画的に実施することが職員の質の向上につながっていると思う。
			●子ども理解に基づき、ねらいを明確にした保育を展開する。事後の振り返りにより、必要に応じて幼児の実態を考慮した教育課程・指導計画に改善する	ねらいを明確にもって保育できたか 教育課程・指導計画を必要に応じて改善できたか	園内研修 幼児記録	学期ごと	○ 夏休みに1学期（Ⅰ期・Ⅱ期）の教育課程、指導計画を学年ごとに振り返り、見直すとともに、Ⅲ期のねらいを共通理解した。	△ 昨年度の反省をもとに、事前に期のねらい、育てたい力を共通理解する機会を設け、事後には振り返りを教育課程・指導計画に反映できた。事前に話し合うことで、何をねらいとするのかには意識が向いたが、ねらいにふさわしい保育を展開できたかは課題が残る。	○ ・「何を育てたいか」の視点は、資質能力の育成の観点からも重要で、小学校にもつながっていく。 ・職員全体で共通理解できる場をもつのはなかなか難しいですが、必要なことと思う。
豊かな心・健やかな体	豊かな心	自分も友だちも大切にしようとする子どもを育てる	●一人ひとりの幼児が認められ、大切にされる経験を積み重ねることで、自分や友だちのよさに気づく。また、自分に自信をもったり友だちを認めたりする姿につながる	一人ひとりの幼児が大切にされる経験ができていくか 自分に自信をもったり、友だちを認めたりする姿が見られるか アンケートの肯定的評価 80%以上	幼児記録 保護者アンケート	年度末	○ 一人ひとりのよさや弱さを教師が見とり、クラス全体に伝えることで、幼児の気づきや成長への刺激となるようにしている。 第1回アンケート：100%	○ 幼児を肯定的に受け止めることを教師が心がけ、それを発信することで、個々のよさがクラス全体に伝わり、自分に自信をもつとともに、クラスに認め合える雰囲気になった。 第2回アンケート：100%	・友達の支えあい、教えあいと、教師のサポートが、 ・子どもどうし遊びや活動を通して互いを認め合う経験は、家庭ではなかなかできない大切な経験だと思う。
			園生活の中で、友達や異年齢児、地域の小中学生など、多様な人と交流することで、人とかかわる楽しさや心地よさを味わう	人とかかわる楽しさや心地よさを味わうことができるか アンケートの肯定的評価 80%以上	幼児記録 保護者アンケート	年度末	○ 異年齢児の姿が刺激となり、遊びが変化する様子が見られれば、5歳児は小学校見学に行ったことで、就学への期待をもつ機会になった。2学期以降、小学生や地域の高齢者との交流もあるので、親しみをもってかかわってほしい。 第1回アンケート：99%	○ 今年度は小学生や地域の高齢者との交流も実現し、親しみをもつ機会となった。また、異年齢児との自然なかかわりが見られ、その中で憧れの気持ちや、思いやりの気持ちがはぐくまれた。 第2回アンケート：100%	○ ・幼小のかかわりに価値を見出していただいていることがありがたい。 ・小学生や高齢者など、様々な人とのかかわりは、経験を広げることになると思う。 ・子どもから聞く幼小交流の話からも、楽しかったことや入学への期待が感じられた。
	自然とのふれあいを通して、生命を大切にすることをはぐくむ	身近な自然に興味をもてるよう働きかけるとともに、飼育栽培活動を取り入れることで、幼児の興味関心を広げ、自然を大切にしている気持ちを育てる	身近な自然にすすんでかかわろうとしているか アンケートの肯定的評価 80%以上	幼児記録 保護者アンケート	年度末	◎ 草花や小虫など、身近な自然に興味をもち、自らかかわろうとする姿や、栽培している野菜の世話をするで行う姿が見られた。今後も豊かな自然をいかした遊びを展開していきたい。 第1回アンケート：100%	◎ 秋にはドングリや柿の実、冬には氷など、その時期ならではの身近な自然にすすんでかかわる姿が見られた。また、飼育栽培活動の中では、友達の姿が刺激となってより興味関心をもち、愛着をもってかかわる姿が見られた。 第2回アンケート：100%	◎ ・幼稚園の強みなので、引き続き様々な自然体験を大切にしていきたい。 ・自然とともに、教師がつくりだす環境も素晴らしい。 ・豊かな自然の中での気づきを感じられ、園での経験が今後につながると感じた。	
	心身ともに健やかでたくましい子どもを育てる	●発達段階に応じた環境構成や遊びを工夫し、体を動かす楽しさを味わえるようにする	すすんで体を動かそうとしているか アンケートの肯定的評価 80%以上	幼児記録 保護者アンケート	年度末	○ 「やってみたい！」と思わず体が動くような遊びを工夫している。2学期の運動会に向けて、体を動かす楽しさがより味わえるよう工夫していきたい。 第1回アンケート：99%	○ 縄跳びや鬼ごっこなど、興味をもって運動遊びを楽しむ姿をクラスに広げ、クラス全体でも取り組むことで、楽しさを共有し、体を動かす意欲につながるとともに、難しいことに自ら挑戦する姿も見られた。 第2回アンケート：98%	○ ・友達が取り組んでいる姿に刺激され、家でできないことに挑戦する姿が見られた。 ・幼児の姿、実態に合わせて取り組んでいると思う。	

			保護者と連携して、基本的な生活習慣の確立を図る	すすんで行う姿が見られるか アンケートの肯定的評価 80%以上	幼児記録 保護者アンケート	年度末	○	保健だよりのほか、保健指導を定期的に行うなど、継続した啓発に努めている。 第1回アンケート：100%	△	生活習慣の定着をめざし、毎月身体測定の際に保健指導を行った。保健だよりの内容については、幼児の実態が保護者に伝わるような工夫が必要だった。 第2回アンケート：98%	○	・園で過ごす中で生活習慣は身につけていくもの。アンケート結果を見ると、保護者の意識も高いのではないかと感じた。 ・保護者としても知っておきたい情報が多いと思うので、積極的に発信していただけたらうれしい。
家庭・地域との連携	子育て支援	保護者と協力して子育てできる関係づくりをする	●園の教育方針や取組等を園だよりやHPを通じて発信する	アンケートの肯定的評価 80%以上	保護者アンケート	年度末	○	園だよりやHPなどで、子どもの姿やそこで見られる育ちをわかりやすく伝えるよう努力している。 第1回アンケート：100%	○	子どもの育ちつつある姿や園が大切にしていることを、園だよりやHPで発信するだけでなく、行事のたびに保護者に直接伝えるようにしたことが理解につながった。 第2回アンケート：100%	◎	・保護者への発信をどのようにすればいいしてもらえるのか、考えられていると感じた。
			預かり保育や未就園児招待の充実により、在園の保護者や地域の子育て家庭が、安心して利用したり、園に親しみがもてるようにしたりする	アンケートの肯定的評価 80%以上	保護者アンケート	年度末	○	未就園児招待、預かり保育ともに、利用する保護者の思いに寄り添い、信頼関係を築くよう努力している。 第1回アンケート：100%	○	未就園児招待、預かり保育ともに、参加・利用する子どもや保護者とのやりとりを大切にすることで、一定数の参加・利用があった。 第2回アンケート：100%	◎	・保護者のニーズをどのように把握されているのか知りたい。

園長より

○園の教育方針や日々の取組については、保護者アンケートの結果からも一定の評価はいただけたように思う。行事での姿を見て成長を実感していただけたことと、取組の過程で園が大切にしてきたことや、子どもの変容の様子などを発信してきたことが実を結んだともいえる。一方で、「体を動かす楽しさ」「基本的な生活習慣の確立」については、より取組の工夫が必要である。

●教員の保育力向上については、今年度「子ども理解」に重点をおいて研究を進めたこともあり、幼児の育ちを見とる力に一定の向上は見られるものの、それが「ねらいを明確にした保育」を実践するうえでどこまで生かしているかには課題もある。今年度で3年間の研究実践がひと区切りとなるが、次年度以降、新たな研修テーマのもと、研修のもち方を工夫し、より実践的な園内研修となるようにしたい。

学校関係者評価者から

- ・園の現状を分析し、計画的かつ向上的に運営している姿がよくわかった。自然や仲間と触れ合う機会がますます少なくなる今の時代において、幼稚園の果たす役割は大変大きなものがある。引き続き、自分らしさが発揮でき、自然と触れ合いながら自分や仲間を大切に子どもをばぐんでほしい。
- ・子どもの見とりを大切にされている姿勢が素晴らしく、小学校として幼児教育に学ぶ点は多いと感じた。
- ・研修や取組を継続できているのが素晴らしい。子どもを中心に取組を進めておられることが子どもの姿に表れていると感じた。
- ・友達とのかかわりの中で、自分や友達のよさに気づき、互いを認め合う経験は、家庭ではできない大切なものだと感じた。
- ・子どもが自分で考えることや子どもの思いを大切に保育をいただいていることがよくわかった。